

2021/02/28 初級作文コース 第16回

連用修飾と“地”

次の日本語を中国語に訳しなさい。

1：君はずっと真剣に絵を描いているけど、何の絵を描いているんだい？

你一直在认真地画画儿，在画什么呢？

・ずっと～する：一直（在）～

* 「正在」「正」は“今まさに～している”と言う切迫感を持つ表現のため、一定時間経過してもなお続けていることを表す副詞「一直」とは併用できない。「一直」と併用して“ずっと～している”と言いたいときは「一直在～」の組み合わせで使おう。

・真剣に～する：认真地～（地は必須です。）

・絵を描く：画画儿

2：太郎の弟が砂浜で楽しく遊んでいる。

太郎的弟弟在沙滩上开心地玩耍。

・砂浜で：在沙滩上～，沙滩は場所名詞のように思えますがしばしば方向詞「上」をつけます。

・楽しく遊ぶ：开心地/欢快地/快乐地玩耍

・遊ぶ：「玩儿」「玩耍」のどちらもOKですが「玩耍」が書き言葉として使うため今回の例文に適切です。話し言葉「玩儿」を使う例として、「玩儿地开心啊!」（楽しんできてね）などが挙げられます。

3：無礼な客がまったりと店のソファに横たわっている。

不礼貌的客人悠闲地在店里的沙发上躺着。

【別解】：没礼貌的客人悠闲地躺在店里的沙发上。

・無礼な：不礼貌/没礼貌

→ 「不礼貌」は少しだけ書き言葉に聞こえ、少し堅い文章に使うことが多いです。ほかに「不礼貌/没礼貌」に似た言葉は「没家教」「没素质」があります。「没家教」はしつけがなっていない子供に使います。例：这个孩子太没家教了。「没素质」はマナーが悪い、品のない人に使います。例：你这个人真没素质。「没素质的客人」もよく言いますが、「無礼な」だったので「没礼貌/不礼貌」でOKです。

・まったりと：悠闲地~/悠闲自在地~/惬意地~/悠然地~

- ・横たわる：躺
- ・ソファ：沙发は本来物質名詞であって、場所名詞ではないため「ソファに横たわる」は方向詞「上」を使って「在沙发上」を使って書きます。

4：彼は一回また一回と監督の手を強く握って別れを惜しんだ。

他一次又一次地和教练握手惜別。

- ・一回または一回：一次又一次~/一遍又一遍~/屡次/屡屡 など
「屡次」はどちらかという書き言葉です。例：他屡次尝试，终于成功了
「屡屡」はマイナスなことに使います。例：他非常努力，却屡屡失败。

例文では一次又一次~/一遍又一遍~どちらもOKです。

- ・監督：具体的な意味によっては言い方が変わります。

スポーツ競技の指導役	教练
映画などの監督	导演
試験監督	监考
工事現場の監督	监工

などなど、言い方が様々です。ここでスポーツの監督と想像して「教练」にしました。

- ・別れを惜しむ：「惜別」の他に「道別」もあります。例：握手道別
「別れを惜しむ」をいう場合、日常でも成語「依依惜别/恋恋不舍」をよく使います。

5：初恋のあの子はその美しい指で軽やかにピアノを弾いていた。

我初恋的那个女同学用她漂亮的手指轻快地弹着钢琴。

【別解1】：我初恋的她用那漂亮的手指轻快地弹着钢琴。

【別解2】：我的初恋用那漂亮的手指轻快地弹着钢琴。

・初恋のあの子：『(我的)初恋』・『初恋的她』・『我初恋的那个女同学人』を指すとき「我的初恋」だけでOKです。または「我初恋的她」という表現もよく言います。もちろん「我初恋的那个女同学」「我初恋的那个人」も通じます。

- ・美しい指：漂亮的手指・美丽的手指
- ・軽やかに～する：轻快地～（*「轻轻地～」という表現自体は問題ありませんが、イメージは、「そっと」「静かに」「ふんわり」な感じで、また文脈によっては文字通りに「軽々」と、「容

易に」というニュアンスもあり「軽快」なイメージはあまりありません。ピアノを弾くことに「轻轻地」を使うと、「ピアノがうまい」というニュアンスはあんまり感じなくなります。「あまり大きく音を出さないように弾いている」と想像してしまいます。)

6：無愛想な店主は意外にも親切に私をもてなしてくれた。

态度冷淡的店主意外热情地招待了我。

・無愛想な店主：态度冷淡的店主/店长/店家/老板

→店主:例文にOKです。

またネットショップタオバオの責任者のことを「淘宝店主」というなど、固有名詞に使うこともあります。

店长	オーナーではなく雇われ店長のイメージ
店家	店側の人（店員や店長など）
老板	店主，特に飲食店の店主を呼ぶときよく使います。

店长:オーナーではなく雇われ店長のイメージ 店家:店側の人，店員や店長など 老板:店主，特に飲食店の店主を呼ぶときよく使います。

・意外にも：意外～

→直訳ではありませんが、「没想到～」で表現することも多いです。また「出乎意料」もよく使います。例文ですと

***没想到**态度冷淡的店主(竟然)热情地招待了我。

*看着态度冷淡，**没想到**招待我的时候挺热情。

*态度冷淡的店长招待我时**出乎意料**的热情。

などの表現にもOKです。

・親切に～：热情地～（地は必須です）

・もてなす：招待/款待とも可です。

ただ「款待」はご飯をご馳走するなど、金銭などの対価をもらわない場合に使います。例文の「招待」が適切です。

7：その息子は不機嫌に親に「今月の小遣いは？」と言った。

那个孩子不高兴地对他妈妈说“这个月的零用钱呢？”

- ・不機嫌に～する：不高兴地～（地が必要です）
- ・小遣い：零用钱/零花钱
- ・～は？：所在や存在の有無を尋ねるとき「～呢？」を文末に置いて日本語と同じように使います。例えば「李先生は？＝李老师呢？」といった言い方をします。

ちょっと小話

実はネイティブでも「得、的、地」を区別せずにまとめて「的」を使ってしまうことが多いです。仮に「的」で統一した文書を読んでも違和感が少ないようで、バラエティなどのテレビ番組の字幕でもよく混合して使っているを見かけます。

しかし、文法的に「得、的、地」を使い分けるのが正しいです。
→試験では混合しないように！

学校教育には、小学校の国語ではそのような問題が出題されていたそうです。中高以降はその違いについて問われませんが、作文に使い方が間違えると減点されることがあります。

大学に入ると、文系の論文ではそこまで厳しくないそうです。

少し調べましたが、大手新聞社、出版社の出版物ならきっちり「得、的、地」のルールを守っているようで、ネットメディア、大手民間企業の広報、著名人のブログなどは混合して使うことが多いそうです。